

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 5月 24日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

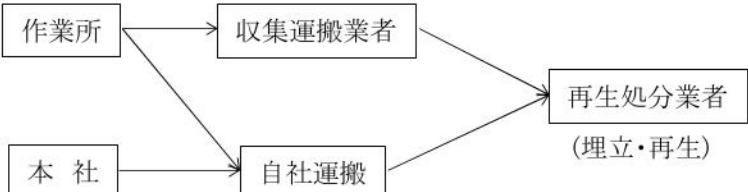
住 所 静岡県榛原郡吉田町大幡2130

氏 名 大石建設株式会社
代表取締役 大石真也

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0548-32-0415

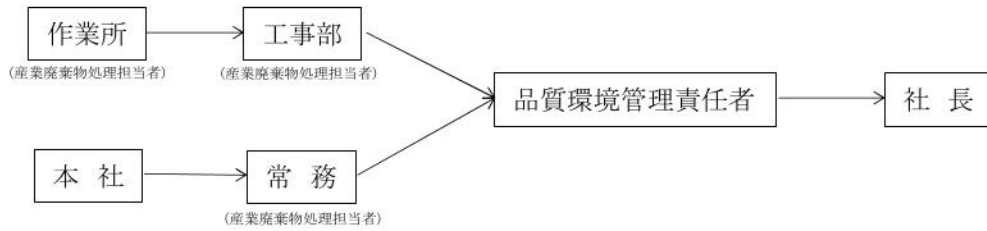
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大石建設株式会社
事業場の所在地	静岡県榛原郡吉田町大幡2130
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・総合工事業 D06
② 事業の規模	土木工事完成売上高 16.9億円
③ 従業員数	51人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	 <pre>graph LR; A[作業所] --> B[収集運搬業者]; A --> C[自社運搬]; B --> D[再生処分業者 (埋立・再生)]; C --> D; E[本社] --> C;</pre>

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	5,356.002 t	t
	(これまでに実施した取組) ・出来形の制度を上げ材料のロスを少なくする。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	5,155.000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・昨年度と同様に実行し産業廃棄物の減量に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・残材、梱包材の分別処理を行った。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・残材、梱包材の分別処理を行う。 ・梱包材の持ち帰りを徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	5,356.002 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	5,350.092 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.910 t	t
(これまでに実施した取組) 信頼のおける処分業者へ依頼した。			

(第5面)

②計画	【目標】 法令を遵守し、資源の有効活用と廃棄物の減量化を図る。		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	5,155 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	5,155 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 工事別産業廃棄物契約を結び、マニフェスト管理を徹底する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考	<p>1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。</p> <p>2 当該年度の6月30日までに提出すること。</p> <p>3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。</p> <p>(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。</p> <p>(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ</p> <p>事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。</p> <p>(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。</p>
中 間 量 行 収 あ へ と の 入	<p>4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。</p> <p>5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。</p> <p>6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。</p> <p>7 ※欄は記入しないこと。</p>

令和4年度 産業廃棄物処理計画一覧表

別紙

産業廃棄物の分類コード	産業廃棄物の種類	年度	①排出量	②+⑧ 自ら再生処理を行った量	⑤自ら熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑩全処理委託量	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬熱回収認定業者への処理委託量	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0221	建設汚泥 (残土を除く)	前年実績	2.360	0.000	0.000	0.000	0.000	2.360	0.000	2.360	0.000	0.000
		本年目標	5.000	0.000	0.000	0.000	0.000	5.000	0.000	5.000	0.000	0.000
0600	廃プラスチック	前年実績	36.115	0.000	0.000	0.000	0.000	36.115	0.000	32.345	0.000	3.770
		本年目標	30.000	0.000	0.000	0.000	0.000	30.000	0.000	30.000	0.000	0.000
0800	木くず	前年実績	95.190	0.000	0.000	0.000	0.000	95.190	0.000	93.170	0.000	2.020
		本年目標	100.000	0.000	0.000	0.000	0.000	100.000	0.000	100.000	0.000	0.000
0811	伐木材・伐根材	前年実績	1,121.157	0.000	0.000	0.000	0.000	1,121.157	0.000	1,121.037	0.000	0.120
		本年目標	1,000.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,000.000	0.000	1,000.000	0.000	0.000
1200	金属くず	前年実績	0.791	0.000	0.000	0.000	0.000	0.791	0.000	0.791	0.000	0.000
		本年目標	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1500	がれき類(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物)	前年実績	4.680	0.000	0.000	0.000	0.000	4.680	0.000	4.680	0.000	0.000
		本年目標	5.000	0.000	0.000	0.000	0.000	5.000	0.000	5.000	0.000	0.000
1501	コンクリート破片	前年実績	1,124.711	0.000	0.000	0.000	0.000	1,124.711	0.000	1,124.711	0.000	0.000
		本年目標	1,000.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,000.000	0.000	1,000.000	0.000	0.000
1502	アスファルト・コンクリート破片	前年実績	2,947.500	0.000	0.000	0.000	0.000	2,947.500	0.000	2,947.500	0.000	0.000
		本年目標	3,000.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3,000.000	0.000	3,000.000	0.000	0.000
2020	管理型建設混合廃棄物	前年実績	4.940	0.000	0.000	0.000	0.000	4.940	0.000	4.940	0.000	0.000
		本年目標	10.000	0.000	0.000	0.000	0.000	10.000	0.000	10.000	0.000	0.000
2100	安定型建設混合廃棄物	前年実績	0.962	0.000	0.000	0.000	0.000	0.962	0.000	0.962	0.000	0.000
		本年目標	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
2200	管理型混合廃棄物	前年実績	17.290	0.000	0.000	0.000	0.000	17.290	0.000	17.290	0.000	0.000
		本年目標	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
7426	汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの)	前年実績	0.306	0.000	0.000	0.000	0.000	0.306	0.000	0.306	0.000	0.000
		本年目標	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
前年実績合計			5,356.002	0.000	0.000	0.000	0.000	5,356.002	0.000	5,350.092	0.000	5.910
本年目標合計			5,155.000	0.000	0.000	0.000	0.000	5,155.000	0.000	5,155.000	0.000	0.000